

2022年11月30日(水)

『 とことん一点だけで突き抜ける 』

株式会社 菓子道

代表取締役 所 浩史 様

● 出会いの奇跡

1分に一人と出会う、1日24時間で1,440人、1年間で約52万人、80年間で約4,200万人
一生で出会える人の数は非常に少ない。

1, 剣道との出会い

- ・打たれて感謝（自分の弱点を教えてくれた相手に感謝する心）
- ・残心（剣道では、攻撃後油断しないという教え、それを接客業に活かし、お客様の後ろ姿にも感謝する心）
- ・間合い（人間関係も間合いが大切。遠くから見守るとき、近くで寄り添い守るとき）

2, 牛井吉野家前社長 安部修二氏との出会い

- ・成功する3つの教え（1, 努力すること 2, 協力を得ること 3, 神のご加護）
- ・歴史は勝者が作っていく、だから正しい者が勝ち続けなければならない

3, 船井総合研究との出会い

- ・将来伸びる人材の条件（1, 素直 2, 勉強好き 3, プラス思考）



● ヨックモック修業時代

- 1, シェフは神である（理不尽さから学ぶ大切さ）
- 2, カエルの話（自分が作ったもので相手が喜ぶ姿を見て感動し、やりがいにつながる）
- 3, 70回混ぜる話（どんなに機械化が進んでも、品質は自分たちが守っているという責任感が品質を守り続けていく）

● 父親の洋菓子店が倒産

一度、洋菓子の世界を離れペンションで勤務。オーナーの「所君はお菓子を作っているときが一番楽しそうだね！」の一言で再びお菓子の世界に戻る。

● パステル時代

- 1, 近くの先に遠くがある（先ずは近所の人に愛される店舗を目指す）
- 2, ロングセラーになる商品の条件はとにかくシンプルである
- 3, マーケットインではなく、プロダクトアウト（真の大ヒットにつながるのは、現場のトライ&エラーから生まれたオリジナルしかない。そして、そのトライ&エラーを支えるのは現場の熱い思いである）
- 4, 何個商品を作っても1分の1の思いを込める（プリンで結婚したカップル、父の生前最後の笑顔）

- 5, 食材を求めて世界中を回る（どんな場所でどんな人たちがどんな思いで作っているのか？それを確かめることで食材の本質がわかり、食材に対する愛着がわく。）

●プルシック

シンプルなプルとベーシックのシックからの造語

- 1, コンセプトは、ベーシックをシンプルに極める
- 2, スローガンは、「お菓子づくりは、笑顔づくり！」
- 3, 自分以外はすべてお客様（パートナーは、会社名ではなく名前と呼ぶ。）
- 4, お菓子づくりは手段。その先にあるお客様の笑顔のためにお菓子を作る。

